



栄えある受賞 おめでとうございます



釧路市民貢献賞



産業部門 **太田 武憲** さん (75歳)

65 (昭和40) 年に株式会社太田千草園に入社し、86 (昭和61) 年に代表取締役社長に就任されて以降、釧路造園組合理事長をはじめ、数々の造園関係団体の役員を歴任され、全道、全国の造園業界の発展に寄与されている。

とりわけ、若年層の通年雇用と技術継承のために自らが先頭に立って、北海道で初めてとなる「冬季向上訓練」の実施や、釧路造園組合の周年事業において技術継承を兼ねた鶴ヶ岱公園にある日本庭園の作庭を実施するなど、造園業界全体の運営や基盤強化、次世代の業界を担う若手人材の育成に大きく貢献された他、桜の木を保護するため自らが講師となって研修会を実施するなど「てんぐ巣病対策」の活動を全道に広められた。

以上のとおり釧路地域の造園業界のみならず、全道、全国の業界の振興・発展、後進の育成にも尽力された功績は極めて大きい。



社会部門 **濱木 義雅** さん (82歳)

「緑いっぱい市民運動」世話人会の役員として長きにわたり活動し、「緑の少ないまち」と言われた釧路市を緑豊かな住みよいまちにするため、市民の先頭に立って緑化活動に尽力された。

この取り組みの中で「育樹」の大切さに気づき、桜の木を守り育てる「サクラ守」を発足され、釧路の桜の保護・育成や啓発、また釧路独自の桜園芸品種認定に努められた他、新たな緑化推進団体の立ち上げに尽力されるなど、多くの市民が花と緑によるまちづくりに関わる機会を創出し、当該団体以外の緑化関係団体にも携わり、市民による緑化活動の多角的な推進や住みよいまちづくりに多大な貢献をされた。

長年にわたり緑のまちづくりに励むとともに、活動の輪を広げ、釧路を緑豊かなまちへと導いてきたその功績は誠に顕著なものである。

釧路市文化賞



芸術部門 (文学研究) **北 島 立 朴** さん (81歳)

22歳で釧路時代の啄木研究を始められた。文献一冊一冊から独学で調べ、関わった人たちの証言や記録資料を集め、国際啄木学会で発表するほど、新事実を多数発見してこられた。

釧路滞在中の啄木に関するイメージを払拭し、真実を伝えることで作品の良さを見直してもらいたい一心から、釧路啄木会を06 (平成18) 年に設立。他都市と情報交換を行うなど、会長としての会の発展に尽力され、国際啄木学会理事や、北海道支部長を歴任し、国際啄木学会釧路大会では実行委員長を務め、普及活動にも熱心に取り組まれた。

啄木について分かりやすく身近に感じてもらえるよう、釧路市内外で講座を頻繁に開催し、啄木研究を広く後世に伝え、釧路市における啄木文学の普及・発展に長年貢献されている。

釧路市スポーツ賞



ソフトテニス **大日向 勲 男** さん (80歳)

78 (昭和53) 年に釧路ソフトテニス協会常任理事となり、42年間にわたり特別職等の要職を歴任された。

01 (平成13) 年には、競技人口の減少がみられる中、ジュニア指導部を立ち上げ、釧路管内から小学生の参加者を募り、本市のソフトテニスの普及振興に貢献された。

加えて、審判部長として小学生から大人までを対象に毎年審判講習を開催するとともに、中体連・高体連で審判長を永年務め、後進の育成に献身的に取り組まれた。13 (平成25) 年からは、会長として豊かな経験、知識はもとより熱い情熱を持って協会の組織拡大、ソフトテニスの発展に努力された。現在は、名誉会長として協会の大きな支えとなっている。

釧路市文化奨励賞



芸術部門 (音楽) **石 田 憲 一** さん (75歳)

高校卒業後、音楽活動に興味を持たれ、仕事の傍ら「釧路混声合唱団」に入団され、副団長として演奏会の企画・運営にも携わった。

釧路合唱連盟の設立に尽力され、事務局長や理事長を歴任し運営や企画等を担われ、また全日本合唱連盟北海道支部の副部長も務められ、現在は相談役として連盟を支えておられる。東京公演の開催や周年記念演奏会でも中心となって運営された。「釧路男声合唱団」でも入団後6年で代表に選出され、合唱音楽文化の振興に貢献されている。

第九演奏会等では合唱団を取りまとめ、釧路市の合唱音楽文化を語る上で欠かせない存在である一方、釧路市文化団体連絡協議会副会長、釧路地方文化団体連絡協議会副会長として、釧路市の文化芸術全般の普及振興に長年努められている。



柔道 (故) **菅原 賢 司** さん (享年79歳)

指導者として、釧路工業高等専門学校で長期にわたり非常勤講師および同校柔道部の外部コーチを務め、同校柔道部を全国高等専門学校体育大会優勝に導いた。

また、80 (昭和55) 年から21 (令和3) 年までの42年間にわたり大楽毛児童センター柔道クラブで指導され、本市における社会体育活動、地域スポーツの発展に寄与された。

04 (平成16) 年には、釧路柔道連盟加入団体に所属していない柔道家を釧路市柔道同好会として組織化した力量を評価され、釧路柔道連盟副会長に抜擢された。そして、10 (平成22) 年に会長に就任し、連盟の中核として組織を取りまとめ、各種大会等の企画、運営及および柔道環境の整備に尽力された。

授賞式の日程

- 釧路市民貢献賞 10月11日(火)午前10時
会場 市役所本庁舎 2階市議会議場
問合せ先 市役所市民生活課 (☎31-4590)
- 釧路市文化賞・文化奨励賞 11月3日(木)午前11時
会場 市役所本庁舎 2階市議会議場
問合せ先 市教委生涯学習課 (☎31-4579)
- 釧路市スポーツ賞 10月18日(火)午前11時
会場 市役所本庁舎 2階市議会議場
問合せ先 市教委スポーツ課 (☎31-2600)



芸術部門 (音楽)

釧路市民吹奏楽団 (創立47年)

75 (昭和50) 年に「釧路青少年吹奏楽団」として創立し、81 (昭和56) 年に地域に根差した音楽性豊かな市民バンドづくりを目指して「釧路市民吹奏楽団」に名称を変更し、47年という長きにわたり活動を展開されている。

86 (昭和61) 年から室内楽コンサートを毎年開催し、釧路市芸術祭には40年連続出演。市民行事の参加や慰労演奏も積極的に行われている。

市民と楽しみ身近に感じる活動を大切にしたいという思いから、子どもからシニアまで参加できる三世代生涯学習バンド「市吹りベルバンド」(現くしろリベルバンド)を01 (平成13) 年に発足するなど、先進的な取り組みを行っている。

団員の技術向上のみならず、後進の育成にも尽力する等、釧路市の音楽文化普及に長年にわたり努められている。